

令和7年9月29日



令和6年度の様子（参加人数150名）

中小企業技術振興課
直 通：092-643-3433
内 線：3727、3725
担 当：池田、石川

工業技術センター令和7年度研究成果発表会を開催！

～ものづくり中小企業の技術開発を支援します～

福岡県工業技術センターは、「“創る”を“共に”福岡の未来（あす）をひらく技術拠点」として、研究開発、人材育成、技術相談等を通じて、ものづくり中小企業を中心とする県内企業の技術支援を行っています。

当センターを県内企業に更に活用していただくため、10月16日の「モノづくりフェア2025」（日刊工業新聞社主催）において、令和7年度研究成果発表会を開催します。

発表会では、当センターの研究成果や保有技術、最新の評価機器・製造機器、デジタル化支援などを中心に、口頭発表及びパネル展示を行います。パネル展示では、当センター研究職員が参加者に直接説明し、意見交換を行います。

企業の皆様の技術支援に繋がる多分野の研究成果や技術情報を発信しますので、是非ご参加ください。

1 日時

令和7年10月16日（木） 13時00分～16時00分

2 場所

マリンメッセ福岡 A館 2F セミナー会場A（福岡市博多区沖浜町7-1）

3 内容

（1）口頭発表 ※一部抜粋 詳細はホームページをご覧ください。

○工業技術センターの紹介

○工業技術センターの重点取組

製品企画力高度化支援事業－NIKAWA－成果報告 ～県産家具の新たな可能性～

レーザを使った新しい金属加工技術の開発と普及に向けた取り組み

ものづくり革新を牽引するAM技術：DEDによる付加価値創出と応用可能性

構造解析ソフトウェアを活用した開発支援

I o T普及エコシステムの構築と導入支援の取り組み



モノづくりフェアHP

○これからの注目技術

繊維製品の簡易的な抗菌性試験方法

AIを活用したプラスチック複合材料の物性予測

果実や花から分離した乳酸菌の特異性・機能性に関する研究

○工業技術センターと企業の共同開発事例

微生物取扱い講習会と技術習得による製品開発事例の紹介

(2) パネル展示

○研究成果や保有技術、県内企業との取り組み等を紹介するパネルや成果物を展示します。

4 参加申込

10月7日（火）までに下記URLまたは二次元コードからお申し込みください。

URL：<https://mono2025.nikkan.co.jp/webinar/detail/1552>

5 参加費

無料

6 定員

会場200名



お申し込みはこちら

★ 報道機関の皆さまへ

取材希望がありましたら、下記担当までお問い合わせください。

福岡県工業技術センター 企画管理部 情報交流課（ひろふじ廣藤、しまだ島田、しゅうぜんじ周善寺）

・Tel: 092-925-5977

・E-mail: joho@fitc.pref.fukuoka.jp

ものづくり中小企業の技術開発を支援します！

令和7年度 福岡県工業技術センター



研究成果発表会

当センター4研究所の代表的な研究成果をご紹介します。
皆様のご来場をお待ちしております!!

10/16 木 13:00～16:00 (受付12:30～)
「モノづくりフェア2025」会場内

- 会場：マリンメッセ福岡A館2F セミナー会場A (福岡市博多区沖浜町7-1)
- 定員：200名(先着) 参加費：無料

- 口頭発表 13:00～15:25 ※口頭発表テーマはポスター発表も行います。
 - 工業技術センターの紹介 13:00～13:10
 - 工業技術センターの重点取組、注目技術、共同開発の紹介 13:10～15:25
 - ・製品企画力高度化支援事業-NIKAWA-成果報告 ～県産家具の新たな可能性～
 - ・レーザを使った新しい金属加工技術の開発と普及に向けた取り組み
 - ・ものづくり革新を牽引するAM技術:DEDによる付加価値創出と応用可能性
 - ・構造解析ソフトウェアを活用した開発支援
 - ・IoT普及エコシステムの構築と導入支援の取り組み
 - 休憩(ポスター発表 14:15～14:30)
 - ・繊維製品の簡易的な抗菌性試験方法
 - ・AIを活用したプラスチック複合材料の物性予測
 - ・果実や花から分離した乳酸菌の特異性・機能性に関する研究
 - ・微生物取扱い講習会と技術習得による製品開発事例の紹介
- ポスター発表 15:25～16:00
 - 工業技術センターの研究・取組を発表します(発表テーマ名は裏面に記載)
 - 10/15～17の「モノづくりフェア2025」マリンメッセ福岡A館(AN-23)でもポスター等を展示

【申込方法】

モノづくりフェアHPから参加申し込みをお願いします(申込番号A4)。
URL: <https://www.nikkanseibu-eve.com/mono/>
申込〆切:10月7日(火)
10月7日以降の申込希望は、裏面最下部に記載の情報交流課までお問合せ下さい。
※成果発表会への参加にはモノづくりフェア2025の来場登録、聴講申込が必要です。



◇ポスター発表一覧 15:25～16:00

工業技術センター・工業技術センタークラブの紹介

オンライン技術相談の開始と工業技術センター見学動画サイトの開設

工業技術センターの研究・取組

- ④ 繊維製品の簡易的な抗菌性試験方法
- ④ 繊維の経時的吸放湿性試験の紹介
- ④ 藍染め生地の色濃度と染料に含まれるインジゴ量の関係
- ④ 非金属材料(無機・セラミックス)の異物分析や品質管理に有効な装置の紹介
- ④ ポリオレフィンリサイクルに関する研究
- ④ AIを活用したプラスチック複合材料の物性予測
- ③ 「果実や花から分離した乳酸菌の特異性・機能性に関する研究」
- ③ 食品のおいしさ評価技術の紹介～官能評価による食感評価～
- ③ 微生物に対するゲノム編集技術の基盤構築に向けた取り組み
- ③ 微生物取扱い講習会と技術習得による製品開発事例の紹介
- ① 製品企画力高度化支援事業-NIKAWA-成果報告～県産家具の新たな可能性～
- ① 福岡県の特産品廃棄物から得られる有効な香り成分の探索

工業技術センターの研究・取組(つづき)

- ④ レーザを使った新しい金属加工技術の開発と普及に向けた取り組み
- ④ レーザによるアルミニウム/鉄の異材溶接
- ④ 雰囲気制御したレーザ熱処理による酸化抑制
- ④ レーザ粉体肉盛法を用いた高Cr鍍鉄被膜形成技術の検討
- ④ さまざまな基材に対応可能なルテニウムめっき液の開発
- ④ ものづくり革新を牽引するAM技術:DEDによる付加価値創出と応用可能性
- ④ 表面形状測定システムの紹介
- ④ 金属粉末射出成形における金型内圧力計測事例の紹介
- ④ 構造解析ソフトウェアを活用した開発支援
- ④ スペックル干渉法を用いた計測装置の開発
- ④ 熱流体分野におけるポロジー最適化の活用に向けた取り組み
- ④ IoT普及エコシステムの構築と導入支援の取り組み
- ④ 電磁シールドの特性評価
- ④ 3次元CADを活用したフィットネス用品の設計支援

④は化学繊維研究所、③は生物食品研究所、①はインテリア研究所、④は機械電子研究所の成果です。

◇マリンメッセ福岡へのアクセス



バスでお越しの方

天神・博多駅からマリンメッセ前下車



タクシーでお越しの方

天神から約6分

博多駅から約10分

福岡空港から約15分



地下鉄でお越しの方

呉服前駅下車 徒歩約15分

中洲川端駅下車 徒歩約18分

※無料シャトルバス(博多駅筑紫口～マリンメッセ福岡)も運行されています。
会場アクセスの詳細はモノづくりフェア2025ホームページの会場アクセスからご確認ください。
モノづくりフェア2025ホームページ: <https://www.nikkanseibu-eve.com/mono/>

◇福岡県工業技術センターについて

地域産業の拠点に、4つの研究所と企画管理部で構成された福岡県の試験・研究機関です。県内企業1社1社の“創る”に寄り添い、“共に”課題解決に取り組んでいます。

化学繊維研究所
(セラミックス、高分子材料、繊維等)

生物食品研究所
(食品、バイオ等)

インテリア研究所
(デザイン、木質系材料、家具等)

機械電子研究所
(金属材料、機械、電子等)

北九州市

筑紫野市

久留米市

大川市

◇福岡県工業技術

センタークラブについて

『産・官連携の強化に基づく新技術の創造』をキーワードに会員企業と福岡県工業技術センターが、より密接な情報交換と連携を行うことで、競争力のある企業の発展を目指します。

A館 小間番号「AN-23」にて、
会員企業の3社、
DHF
(株)博有
藤井精工(株)
の製品・技術を展示しています。

●お問い合わせ

福岡県工業技術センター 企画管理部 情報交流課 (福岡県筑紫野市上古賀3-2-1)

TEL:092-925-5977 FAX:092-925-7724 E-mail:joho@fitc.pref.fukuoka.jp